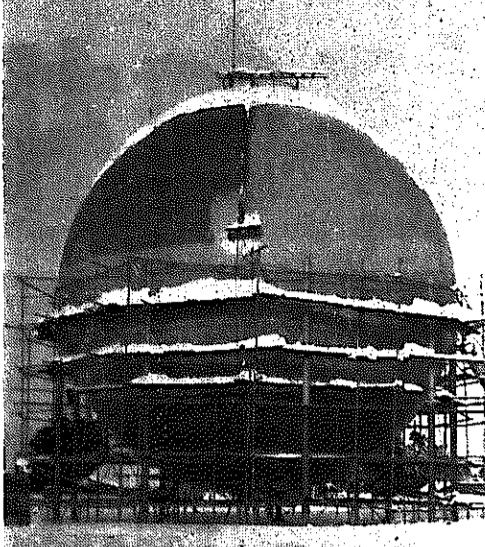


出が悪いのは解消

三千八百万でガス施設を拡充

昨年四月から、三千八百五十九万五千円をかけて工事をはじめたガスホルダー、中庄管、ガバナー（制圧室）の布設がこのほど終わり、ガス輸送力の増強に役立っています。そこで、①この工事で都市ガスの利用者はどんな利点があるのか②ガスの供給をはじめてから使用量はどのようなるかをしているのか、などを紹介します。

夕ごはんのときなど一時的にガスの出の悪いときがある離れてる上塙復部落の婦人から、昨年こんなことを聞きました。これは、下表のようにガスの使用量が急激に伸び、今までの施設ではガス輸送が問題になります。



古川保育園前に新設されたガスホルダー

に合わなくなつたため生じたもので、そこで、需要の伸びに対する供給を改善し、必要なときに必要な量だけガスが出るようにしよう」とこのたびの工事となつたものです。

この工事で増設されたのは大字能登内地（古川保育園前）

にホルダー一つに約千平方㍍の土地を買収して七千五百立方㍍はいるガスホルダー一基、新設のホルダーから根岸地区のガバナーまでの中庄管一本、根岸地区と鰐潟にガバナー二カ所です。

この工事が終わってガス水道局では「この工事の完成で、都市ガスの利用家庭の近くまで中庄で送ることができ

三十九年九月から供給をはじめ、当時は二百三十九戸の

それが、同年度末になると、一千九十六戸にふえ、四十三

年度末には、二千七百四十五戸にふえる見込みです。

一方使用量を見ますと、三十九年度末は十七万三千二百十一立方がだったのが、四十一年度末になると、百二十五万一千八百立方がと七倍以上

あります。

一方使

用

量

見

ま

す。

一方使

用

<p